

半歳の間に、全国に亘り二百六十三回の演説会（各種大会及び講演会を含む）に参上せられた（平均二日に一回）し、半議の太極に、近奉半半の太極に、合同促進に、また其他、日常宣傳半半に精力的努力と果敢なる斗争を戦ひ抜いた。然かも吹き捲くる反動の嵐、暴徒なる支那階級の狂圧に抗して——中止に及んで不斷に出演せられし半半士結成に對して厚く感謝の意を表す、また諸種の都合で予定の半半士を派遣出来なかつたところは幸催支部に於いて了とせられし半半士を望む。

次に今日迄の宣傳部の活動が殆んど半半の卷置のみに止まり、計畫的組織的及び緊急對策のアシ・プロ半半の出来なかつた事は他部門との連絡の不充令並に宣傳部の不確立とに於けるものと思ふ。尚、宣傳部では本部員会で決定されしが、常任中央執行委員会に正式提出の運びに今尚至つておらない。

(以上)

最新報告

昭和六年七月
 一、地方政治学校報告
 一九三〇年十二月以降一九三一年六月二十五日に至る期間に開設された地方政治学校宛報告されたものは次の如くである。

部長 織木 侃毅
 主任 織木 侃毅

期	日	校数	場所	学名	生徒数	生徒社会層
一九三〇年十一月二十六日	全一	四	茨城県水海道町	茨城大衆政治学校	一一五	農
一九三〇年十一月二十七日	全二	二	山形縣八戸市	農民大衆政治学校	一一五	農
一九三〇年十一月二十八日	全三	二	青森縣八戸市	ハカガ講習会	一一五	農
一九三〇年十一月二十九日	全四	七	長野縣上諏訪町	長野大衆政治学校	一一五	農
一九三〇年十一月三十日	全五	六	栃木縣上野原町	廉沼政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月一日	全六	七	福岡縣行橋町	現利産業政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月二日	全七	四	大分縣別府市	無産者政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月三日	全八	三	奈良縣斑鳩市	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月四日	全九	三	神奈川縣川崎市	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月五日	全一〇	一	東京市浅草区	下谷政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月六日	全一一	一	東京市赤坂区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月七日	全一二	二	横滨市中区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月八日	全一三	三	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月九日	全一四	五	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十日	全一五	三	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十一日	全一六	五	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十二日	全一七	三	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十三日	全一八	五	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十四日	全一九	三	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十五日	全二〇	五	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十六日	全二一	三	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十七日	全二二	五	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十八日	全二三	三	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月十九日	全二四	五	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月二十日	全二五	三	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月二十一日	全二六	五	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月二十二日	全二七	三	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月二十三日	全二八	五	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月二十四日	全二九	三	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農
一九三〇年十二月二十五日	全三〇	五	東京市下谷区	プロレタリア政治学校	一一五	農